松山赤十字病院

開設年　●大正２年４月１日
開設者　●日本赤十字社
院　長　●横田　英介
病床数　●585床（一般：582床、感染症：３床）
医師数　●211名（研修医含む）
研修医数　●63名（初期研修医33名、専攻医30名）
臨床研修指導医数　●128名
患者数　●外来 1009.0名/日　入院 492.6名/日（令和２年度実績）

大正2年に創立され、平成25年に100周年を迎えました。令和3年3月15日に南棟がオープンし、令和4年グランドオープン予定です。

〒790−8524
愛媛県松山市文京町1番地
TEL 089−924−1111　FAX 089−922−6892
https://www.matsuyama.jrc.or.jp/careers/resident/

標榜科

◆内科◆血液内科◆糖尿病・内分泌内科◆肝臓・胆のう・膵臓内科◆腎臓内科◆脳神経内科◆呼吸器内科◆循環器内科◆消化器内科◆外科◆乳腺外科◆血管外科◆呼吸器外科◆心臓血管外科◆小児外科◆脳神経外科◆麻酔科◆小児科◆産婦人科◆整形外科◆リウマチ科◆リハビリテーション科◆耳鼻咽喉科◆皮膚科◆形成外科◆泌尿器科◆眼科◆放射線治療科◆心療内科◆精神科◆歯科口腔外科◆病理診断科◆放射線診断科

プログラムの目的と特徴

目　的

1）医師としての人格を涵養し、プライマリーケアーへの理解を深め、患者を全人的に診ることができる基本的な診療能力を修得する。
2）看護師、薬剤師などのコメディカルスタッフとともに診療にあたり、チーム医療の実践を身につける。
3）かかりつけ医など地域の医療機関との密接な連携のもとで、地域完結型の医療を学ぶ。
4）後期研修（レジデント）で専門医療を体得するための基礎をつくる。
5）赤十字の使命である災害救護活動や医療社会奉仕活動に積極的に参加する。

特　徴

地域医療支援病院として連携している医療機関から紹介される豊富な症例を通して幅広い臨床研修を積むとともに、各診療科では地域の基幹病院として提供している高度の専門的医療を学ぶことができます。

救急部門の研修は、救急外来の一次救急から救急搬送患者までの初期診療に重点を置き、継続して救急入院患者を担当します。また、選択必修の麻酔科研修も含め、気管挿管・中心静脈確保等の救命に必要な手技を習得します。更に希望する場合は、2年目の選択期間に、他県の赤十字病院の高度救命救急センターでの研修も可能です。

平成19年に「教育研修推進室（臨床研修センター）」を設置し、教育研修担当の看護師、事務職員を配置し、薬剤師、検査技師等のコメディカルスタッフも含めて病院職員全体で研修医を育てています。研修ローテーションは個人の希望を尊重して作成し、研修途中の変更にも柔軟に対応しています。

各診療科では、指導責任医師のもとに、指導医、後期研修医（レジデント）が熱心に指導にあたっています。当院はクラブ活動を推奨しています。余暇も大切にし、ゆとりを持った研修生活を送ってほしいと思います。

院長からのメッセージ

院長
横田　英介
九州大学卒 内科

「めざそう! 地域を支える最高の急性期病院」をビジョンに掲げ、質の高い医療の提供、地域社会への貢献、優しい病院づくりを3本の柱に据えて病院運営を行っています。「地域医療支援病院」として連携医療機関から紹介される豊富な症例を通して幅広い臨床研修を行うとともに、各診療科では地域の基幹病院として提供している高度の専門医療を学ぶことができます。当院は基幹型研修病院ならびに愛媛大学、九州大学等の協力型研修病院として多くの研修医を受け入れてきました。今後は平成30年度から始まった新たな専門医制度も念頭に置いた教育・指導を行うとともに、指導医のみならず看護師や他のコメディカルも積極的に関わり、病院全体で研修医を育てるという気持ちで取組んでいます。

外科系の医師から縫合・糸結びを学ぶ

研修スケジュール

1年次	1−4週	5−8週	9−12週	13−16週	17−20週	21−24週	25−28週	29−32週	33−36週	37−40週	41−44週	45−48週	49−52週
	内科						救急部門		麻酔科	外科	小児科	産婦人科	精神科
	当院												外部医療機関
2年次	1−4週	5−8週	9−12週	13−16週	17−20週	21−24週	25−28週	29−32週	33−36週	37−40週	41−44週	45−48週	49−52週
	地域医療	自由選択科目											
	外部医療機関	当院又は外部医療機関											

必修分野

内　科	24週	精神科	4週
外　科	4週	救急部門	8週*1
小児科	4週	地域医療	4週
産婦人科	4週	麻酔科	4〜8週

その他の分野及び選択研修など

＊1　救急部門研修：救急輪番日（救急日）は、外来の一次救急から救急搬送患者までの初期診療に重点を置き、継続して救急入院患者を担当します。2年間を通して救急部門以外の研修期間においても月2〜3回程度の救急宿日直を担当します。これにより、救急部門研修を8週とすることも可能です。

＊2　救命救急センター等での重症患者の集中治療・救急医療の研修を希望する場合は、2年次の選択期間に原則として、4〜8週間の他施設（赤十字病院）における研修を可能としています。

救急研修:
日本赤十字社和歌山医療センター高度救命救急センター
徳島赤十字病院高度救命救急センター

研修責任者からのメッセージ

研修実施責任者（副院長）
上甲　康二
愛媛大学卒　肝臓・胆のう・膵臓内科

これからの医療を支える多くの人材が、当院での臨床研修を通して育ってくれることは、私たちにとって大きな喜びです。実りある研修と理想的な医療とは表裏一体の関係にあり、私たち指導医が常により良い研修ができるよう努力することで、病院全体においても良質な医療を実践できると考えています。そのために私たちは自らの知識や技術を磨く一方で、研修医の先生方の意見を幅広く取り入れ、研修プログラムの作成に取り組んでいます。熱意ある若者たちの活躍なくして明日の日本の医療は成り立ちません。仲間として一緒に頑張ってくれる皆さんを心から歓迎いたします。

麻酔科ローテーションでCVカテーテル挿入を学ぶ

募集要項

予定定員	16名
応募締切	令和３年７月31日（土）必着
選考試験	令和３年８月13日（金）、８月26日（木） 書類審査、小論文、面接により選考 ※マッチングシステムに参加
応募書類	1）松山赤十字病院初期臨床研修申込書（DOCX形式） 2）履歴書（XLSX形式） 3）卒業見込証明書 4）医師免許証の写 5）成績証明書 資格取得見込みの方（1）（2）（3）（5） 資格を有する方（1）（2）（4） ※（1）（2）については当院ホームページの「初期臨床研修サイト」からダウンロード
研修手当	（年収）１年次　約5,800,000円 ２年次　約6,400,000円（令和２年度実績）
宿　舎	契約住宅確保（敷金・礼金は病院負担）
学会等	発表者は旅費支給あり

連絡先

担当者●教育研修推進室　酒井
〒790−8524
愛媛県松山市文京町1番地
TEL 089−926−9532
FAX 089−922−6892
MAIL　kyouiku_ks.2662@matsuyama.jrc.or.jp

【空港】
バス：道後温泉方面行きにて『日赤前』下車（約40分）
タクシー：（約20分）
【JR松山駅より】
市内電車：環状線古町経由城北方面行きにて「赤十字病院前」下車（約20分）
タクシー：（約15分）
【松山観光港より】
バス：道後温泉方面行きにて「上一万駅前」（約45分）
タクシー：（約35分）